

玉出中だより

令和元年3月24日
大阪市立玉出中学校
3月増刊号 No.17

修了おめでとう 新学年へ向かってステップアップを!!

修了おめでとうございます。1年生115名、2年生107名の一人ひとりが、学習に、学校行事や学年行事、生徒会活動や学級活動、部活動にしっかりと取り組み、本日の修了式を迎えました。今日の修了式は、この1年間の自分の成果、学級や学年としての成果を確認し、その中から見えてきた課題に取り組み始める日です。

新型コロナウイルスの対応のため寂しい卒業式になりましたが、3月13日の卒業式では、3年生一人ひとりが立派に行動し、厳粛な雰囲気の中、威厳のある素晴らしい卒業式を創りあげました。1・2年生のみなさんも、いよいよ学年が一つ上がり、期待も責任も大きくなります。

今年度は『玉出中学校生徒10カ条』を掲げ、地域や社会に貢献できる人材に成長していく様子を1年間取り組んできました。この1年間を振り返り、来年度への課題を考えるために『学校生活振り返りアンケート』を実施しました。

アンケートの結果をみると、全ての項目において、前年度の3学期より肯定的回答をした生徒が増加しています。さらに、10項目中7項目において90%以上の生徒が肯定的回答をしています。ただ、「大きな声でいいさつをする」は、77.2%と80%に達することができず、大きな課題であるといえます。しかし、「学校は楽しい」と回答する生徒は、84.4%あり、多くの生徒が「学校に来ることを楽しみにしている」ことがうかがえる嬉しい結果となってます。新学年を迎えるにあたり、多くの人が前向きに学校生活に取り組もうとする意欲が感じられる結果となりました。

更に「人にやさしい玉出中学生、人にやさしい玉出中学校」を創りあげ、「大阪で1番」いや「日本で1番」の学校を「チーム玉出」で成し遂げましょう。

チャレンジテストの結果も返っていました。一人ひとりが自分の結果をしっかりと受け止め、これから学習に活かし、さらに頑張っていってほしいと思います。

卒業した3年生も自分たちの課題にしっかりと取り組み、自分の力でそれぞれの進路を勝ち取っていきました。みなさんも、卒業した3年生に「追いつけ、追い越せ」という気概を持って、令和2年度、一人ひとりが、また学年として成長し、67期生を超える素晴らしい成果をあげてくれることを期待しています。

学年の修了にあたり、慶應義塾大学を創設した福沢諭吉が塾生に伝えた言葉を紹介します。

学校で一番楽しいことは、好きな教科を持つことである。

学校で一番寂しいことは、注意してくれる友達のいないことである。

学校で一番惨めなことは、規則を破っても気にならないようになってしまうことである。

学校で一番醜いことは、授業の邪魔をすることである。

学校で一番尊いことは、父母や先生に感謝することである。

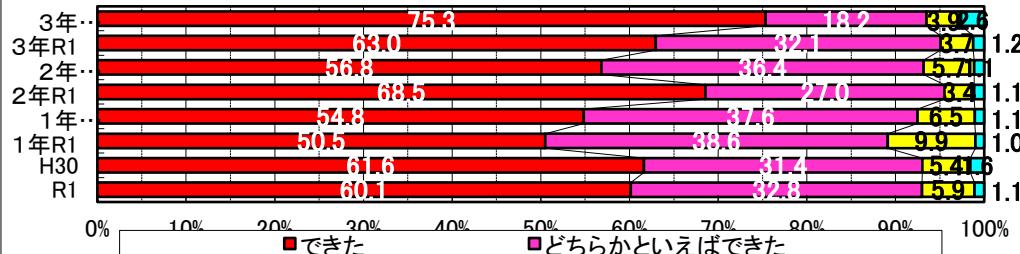
学校で一番美しいことは、落ちているゴミを拾うことである。

学校で一番悲しいことは、人に迷惑をかけることである。

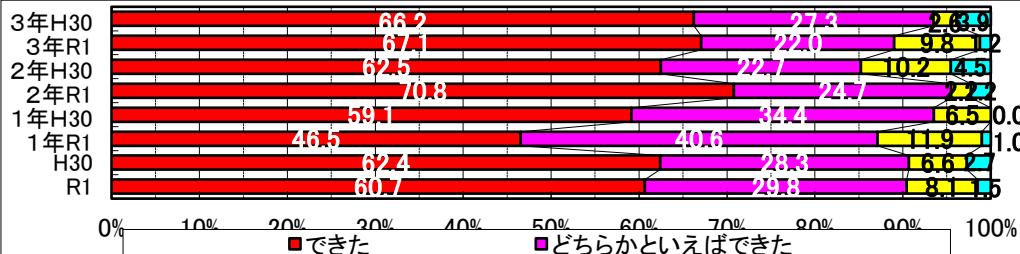
『玉出中学校生徒10カ条』と重なる項目もたくさんあります。自分の人生を切り拓くのは自分自身です。未来に夢と希望を抱き、『玉出中学校生徒10カ条』と福沢諭吉の教えを心に抱きながら、さらに充実した1年にしてください。修了証を受け取った時点から、新年度へのスタートは始まっています。未来の扉を開けるために、努力を惜しまないでください。

※裏面にアンケート結果のグラフを掲載しています。詳細は学校HPをご覧ください。

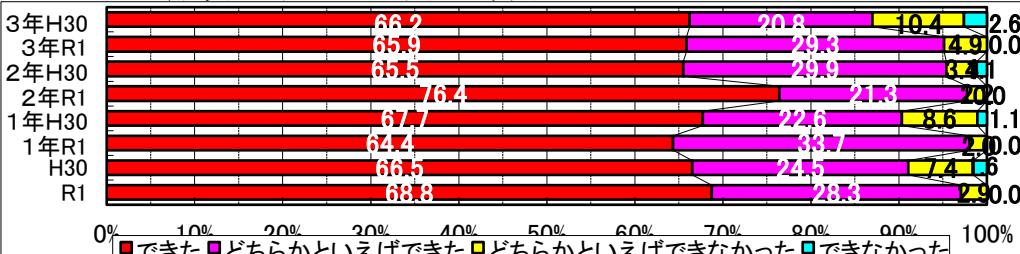
1. 授業を大切にする



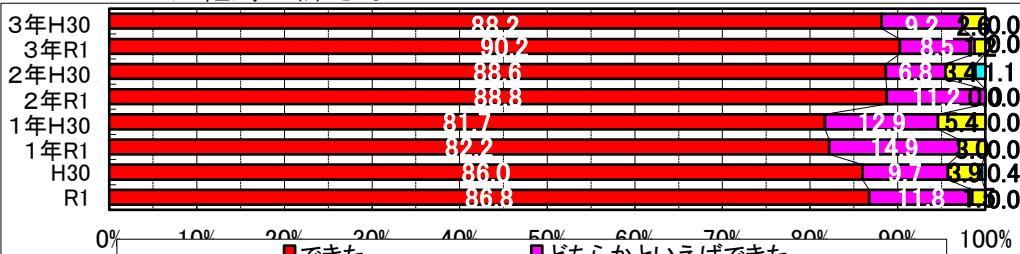
2. 時間を守る



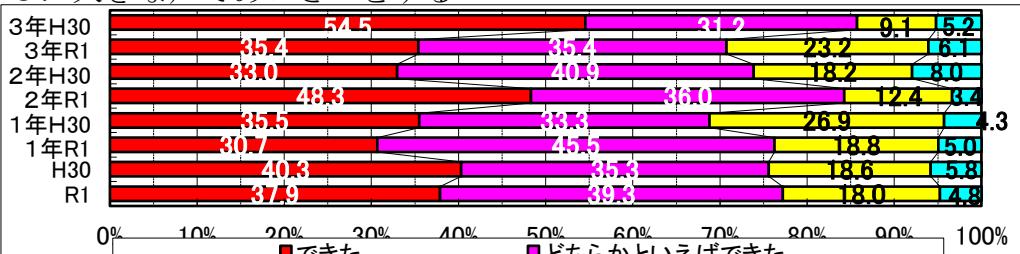
3. 正しい服装と身だしなみを心掛ける



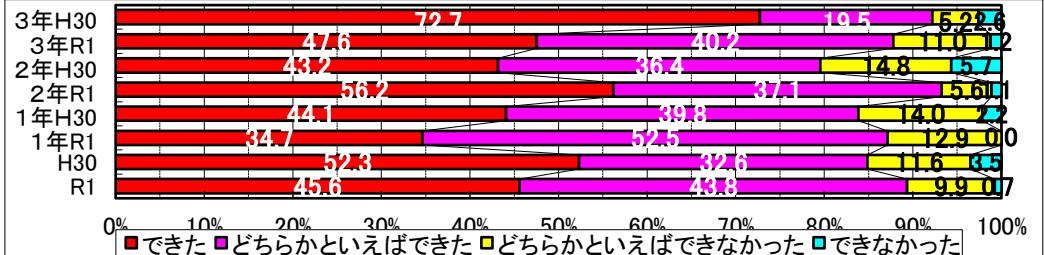
4. いじめは絶対に許さない



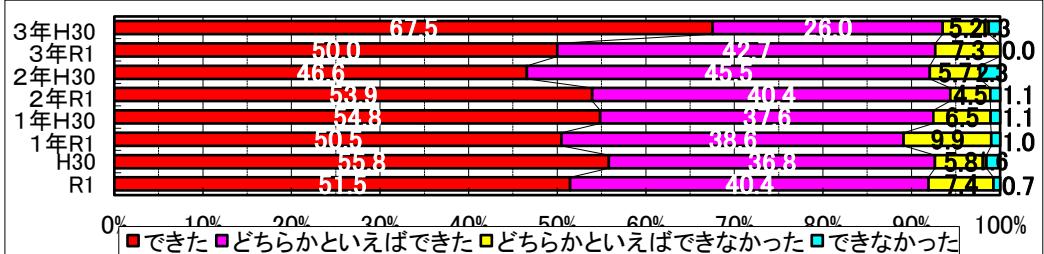
5. 大きな声であいさつをする



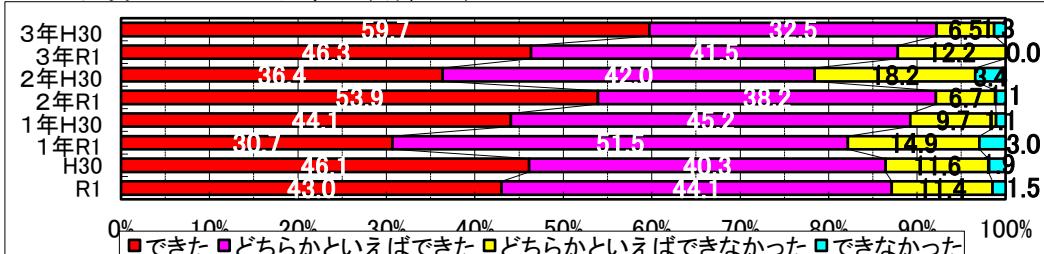
6. 掃除に進んで取り組み、校内美化に努める



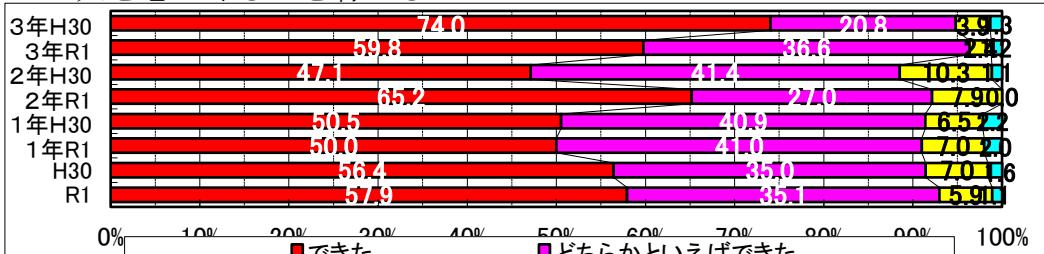
7. 人の話をしっかり聴く



8. 自分の思いを丁寧な言葉で伝える



9. 人を思いやる心を育てる



10. 常に感謝の気持ちをもって活動する

